

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年2月28日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考	
							評価結果		
鹿沼市地域公共交通活性化協議会	関東自動車株式会社 リーバス栗野線	リーバス栗野線の運行	<p>【データに基づいたポストコロナを見据えた地域戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿沼市地域公共交通計画」策定の中で、当該路線が運行する地域の公共交通の在り方を検討し計画に反映させる。(R4.3策定予定) ・OD調査のデータなど可視化して計画策定の議論のなかで活用した。(6月) <p>【デジタル化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GTFS化によりGoogleマップでの路線検索が可能になった。(9月) <p>【地域別マップの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域別バスの乗り方マップを当該地区の全戸に配布した。(10月) <p>【バスの乗り方教室の開催実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と連携した高齢者向け乗り方教室(11月) ・環境学習と連携した親子向け教室(12月) ・小学校の生活科での乗り方教室(9月) <p>【停留所リニューアル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境施設と連携し、路線上の停留所をリニューアルした。 	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C	<p>目標 利用者数 33,502人</p> <p>平成29年度 30,139人 平成30年度 33,507人 令和元年度 32,502人 令和2年度 24,949人 令和3年度 21,617人</p> <p>(目標達成率 64.5%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、特に学生の利用が減少し目標が達成できなかった。 ・事業については「鹿沼市地域公共交通計画」(R4～R9)に基づき着実に実施していく。 ・高齢者や子どもたち向けのバスの乗り方教室は、福祉や環境関連団体など他分野との連携により継続して実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・アフターコロナ・ウィズコロナ等における利用状況等の検証を行うとともに、利用者を起点とした効果的な利用促進策を実施することが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県との連携が非常に重要であることから、市町村とも連携を図ったうえで、アフターコロナ・ウィズコロナにおける人流の変化をとらえ、データを分析し、円滑な移動を図る取組の実績を積み重ね、自家用車から鉄道やバスなどへと変化していくなどの議論がなされることを期待する。
<p>第三者委員会における各委員からの意見</p> <p>令和3年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。</p> <p>○交通が都市の中で重要な役割を担っているが、公共交通だけではなく自転車や徒歩などを含め全体を体系化し、色々な組み合わせをしながらチャレンジすることが重要。</p> <p>○県や市町村それぞれの役割を考え、オリジナリティを出すことにこだわらず、他の良い事例を学び、まちの事情に合わせて取り入れていくことが重要。</p>									